



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)11月10日  
 会 長：増田 盛英  
 幹 事：高木 勝  
 クラブ広報委員長：岩崎 道夫  
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
 会 場：ヒルトン名古屋  
 事 務 局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3  
 ヒルトン名古屋910号  
 T E L：052-211-3803  
 F A X：052-211-2623  
 M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp  
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

2009～2010年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーの未来はあなたの手の中に  
 2009～2010年度  
 RI会長 ジョン・ケニー

## 第1461回例会

～ロータリー親睦活動月間～  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年6月10日(木) 晴 第44回

司 会：長坂邦雄会場副委員長  
 齊 唱：「我等の生業」  
 ゲ ス ト：加納 裕さんのゲスト…鶴田 浩さん  
 高村博三さんのゲスト…鈴木健司さん

### 副会長挨拶

田中政雄副会長

#### 前立腺肥大症

前立腺とは、膀胱の出口にあり、その中を尿道が通っている男性にしかない臓器です。前立腺肥大症は、その臓器が肥大し、尿道を圧迫して尿の通りを妨害するために様々な症状が起こってきます。前立腺肥大は男性では非常に頻度の高い病気で、60歳代では60%、70歳代では80%、80歳代では90%程度の人になると言われており、1/4の人が治療を必要とする症状を発現すると言われています。



尿の通過障害のために、尿が出にくい、排尿に時間がかかる、尿線がとぎれる、尿が残った感じがする等の、排尿困難の症状が見られます。また、排尿困難の状態が長く続くと、膀胱が過敏な状態が二次的に起こってきて、尿が近い、急に尿がしなくなって漏れそうになる、切迫性尿失禁、夜間頻尿などの症状も見られます。また、排尿障害が進行して、膀胱に多量の残尿が残るようになると、尿路感染や、腎機能障害や尿失禁も起こることになります。

また、前立腺肥大症では、血尿が見られることもあり、膀胱に尿がいっぱい貯まっているのに尿が出ない状態になることがあります。尿を我慢しすぎたり、アルコールを飲んだり、風邪薬を飲んだりしたときに起こることが多いようです。

前立腺肥大症に対する治療としては、通常薬物治療が行われます。それは、前立腺の平滑筋を弛緩させて尿を通りやすくして、排尿困難の症状を改善すると共に、過活動膀胱を制御して、頻尿、夜間頻尿等の症状も改善します。薬物治療の第一選択はα遮断薬と言われておりますが過活動膀胱症状の強い方には、抗コリン薬を併用したり、また、前立腺の大きい方には前立腺を小さくする作用のある抗男性ホルモン薬を併用したりするそうです。

外科的治療としては、尿道から内視鏡を注入して、電気メスで前立腺を切除することが標準手術として行われます。前立腺肥大症の初期治療は薬物治療ですが、効果が不十分と思われたときには手術治療となります。

私も、前立腺癌の小さいのが見つかりました。そのために放射線針による治療を行うこととなりました。放射線が外部に漏れなくなるまで、面会謝絶で特別室に入ると聞いておりますが、まだ未経験ですので、本日はこれで閉めさせていただきます。

### 出席報告

宇佐美貞夫出席委員

会員67名 出席48名 (出席計算人数50名)

出席率 80%

6月 3日は補填により 84.2%

### 幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて次年度予定者会議を開催致します。
- ・本日18時より「つたも」において新旧クラブ奉仕委員会を開催致します。
- ・次週6月17日(木)11時30分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第11回30周年記念実行委員会を開催致します。
- ・次週6月17日(木)は第6回クラブフォーラムです。
- ・次週6月17日(木)11時よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」において臨時理事会を開催致します。

### ニコボックス

宇佐美貞夫ニコボックス委員

- ・長く休会で失礼しています。本年度も何かとお心遣いをいただきありがとうございました。 **越原 一郎さん**
- ・昨日のゴルフ会にてロータリーゴルフ会入会以来18年目にして初優勝しました。同伴の内田さん、入山さんに大感謝。スコアは46(OUT)、48(IN)の94でした。高須さん、100タキの会は退会してもよろしいでしょうか? **稲葉 徹さん**
- ・(株)大成の創業50周年を祝して! **高村 博三さん**
- ・アメリカの孫が3人来ましてJRの券を持ってきて日本中を日帰りで旅行しています。おどろきです。18才、17才、16才です。3人揃っては最後でしょう。 **松井 善則さん**
- ・初の内孫が生まれました。秋には次女が2人目の予定で計5人の孫となりそうです。 **岡村 達人さん**
- ・昨日はゴルフ部会の例会でした。不覚にもブービーでした。コテコテにしてくれてありがとう。堀さん! **関谷 俊征さん**
- ・昨日はゴルフお疲れ様でした。 **鈴木 淑久さん**
- ・本日、7月1日入会の鶴田浩君がゲストとしてお見えです。皆様宜しくお願いします。 **加納 裕さん**
- ・6月27日は私たちの結婚記念日です。 **岩田 吉廣さん**
- ・明日は誕生日です。忘れていました。今日は今年度2回目の卓話をさせていただきます。 **遠山 堯郎さん**
- ・先日は誕生日にお花を頂戴しましてありがとうございました。一日一日に感謝し充実した生活を送りたいと思っております。 **嶺木 一夫さん**
- ・6月13日は誕生日です。 **松波 恒彦さん**
- ・5月の家内の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。 **増田 盛英さん**
- ・妻の誕生日にきれいな花をありがとうございました。 **岡本 忠史さん**
- ・6月3日は妻の還暦の誕生日でした。美しいお花を有難うございました。又昨日は稲葉さんゴルフ優勝おめでとうございました。 **入山 治樹さん**

### ポール・ハリス・ソサエティ認証バッジ伝達



ポール・ハリス・ソサエティになられた高村博三さんに増田会長より認証バッジが授与されました。



## 2010年4月25日のRI規定審議会と新世代奉仕



RI第2760地区のロータリアンは、2010年2月末現在で、約4,992名です。82クラブですから、1クラブ当たり約60名です。世界のロータリーの地区情報などを得ましたので、参考としてお話しします。現在531地区・33,784クラブで約122万人です。未承認のロータリークラブ数は、78地区で6,283クラブ、約201,000人の情報を得ました。日本のロータリーは全体で、91,988人、2,310クラブで1クラブあたり約40人です。

次に、現在RI第2760地区は新世代委員会を設置しています。その中に小委員会として「インターアクト委員会」「ローターアクト委員会」「RYLA(ライラ)委員会」の3委員会があります。2010年度・田嶋年度から「青少年交換委員会」が入ってきます。私は今月6月末までは地区新世代委員長の立場から、5月15日、16日に開催された、第15回ロータリー日本青少年交換委員会・大阪会議に出席しました。RIの本部から青少年奉仕部門統括マネージャーAdam Dotyと、青少年交換スーパーバイザーKate HoepffelさんがUSAから参加して、ROTEXによる同時通訳での開催でした。この会議の開催から終了まで、マナーの良さ、言葉の使い方などなど…、ROTAXの応援活動、ロータリアンに対する感謝の気持ちや礼儀などは驚くことばかりでした。それだけ日本はもとより、世界のロータリアンに対しての感謝の表れだと思いました。そして青少年交換の素晴らしさを実感しました。次に、国際ロータリーの4月25日の規定審議会で「新世代奉仕」が従来の4大奉仕に続き第5番目の奉仕になることが採択されたとの情報を得ました。投票数は、263対250の過半数で決定しました。これは、2010年7月から実施適用されます。また、インターアクトクラブは14歳～18歳でしたが、これからは12歳～18歳になります。目的は高校入学前に子供たちのインターアクトクラブをスポンサーすることができ、以前より年齢が低い若者たちへ奉仕の概念が導入されることとなります。1996年に新世代という言葉(New Generations Service)ができ、昨年は新世代が消えてYouth Serviceになりましたが、今回は新世代に対する危機感が多くあつてのことか、今後益々重要となる青少年プログラム(インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換)の活性化が目的の第5番目の奉仕【新世代奉仕】です。従って、色々と事情がありまして、田嶋年度は過去の新世代委員会がなくなります。そして第5番目の「新世代奉仕委員会」は、ガバナー事務所が所轄することで6月11日の第2760地区の諮問委員会で承認されます。

その他、大きく変わったことをお知らせします。出席免除です。従来は自分の年齢にロータリーの在籍年数を加算して、85になれば出席免除申請が理事会承認で許可されていましたが、次年度からシステムが変わります。65歳でロータリー在籍年数を加算して85にならないと出席免除の申請ができません。(一例として、30歳で入会して60歳になり、在籍年数を加算して90になったからと言って出席免除にはなりません)

次に本題ですが、過去2年間で行ってきた新世代委員会の行動を説明します。その前に2010年、田嶋年度から青少年交換委員会が「新世代委員会」に包括されますが、私は青少年交換は良く理解できていませんので今日は省略をさせていただきます。RI第2760地区内の82クラブで新世代委員会について理解をしていないロータリアンが多いことから、新世代地区委員の全員が協力して、2008年度は52クラブへ新世代の卓話に行きました。2009年度は57クラブへ卓話に行きました。2人一組での訪問でしたが、私はクラブへの卓話訪問は一人で十分だと思います。一人で行くことはCO2の削減にも寄与します。卓話の内容を簡単に説明します。国際ロータリーの奉仕事業は、大きく分けると二つあること、一つは、飢餓、貧困の救済、もう一つは、青少年の健全育成を担当する新世代委員会であることを説明しました。国際ロータリーの奉仕活動は殆どが新世代向けの奉仕活動であると考えます。インターアクト活動、ローターアクト活動、RYLAセミナー(RYLAにつきまして、日本の多くの地区は未だにカタカナで「ライラ」と言っています)また、ロータリー財団がもっとも進めるポリオ撲滅運

動、識字率向上などのすべてが新世代委員会と密接な関係があることを卓話の時間に説きました。

個別の話に入らせていただきます。最初に地区内のインターアクトクラブですが、16あります。地区からの多額な補助金を頂きながら360名です。平均一校当たり、約16人です。残念ながら人数が少ないです。ローターアクトクラブにつきましては、私たちは2009年2月に長崎(RI第2700地区)の全国ローターアクト研修会に参加しました。そこでローターアクト歴一年目のアクターに「ローターアクトクラブへ入った理由を教えてください」と聞きました。返事は「インターアクトクラブに入っていた時と同じように、海外へ行けるから」と言う返事でした。私にとってはガッカリした答えでした。インターアクトクラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界の友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成されたからです。それはローターアクトクラブ提唱の意義から外れた回答だったからです。ロータリーは、ローターアクトクラブと言うロータリー直営のクラブを作って奉仕の理想を志向する市民と指導者の育成を図るのが目的だからです。次に、RI第2760地区のローターアクトクラブは9クラブで、会員数は、2010年2月1日現在で、141名です。これも多額な補助金を頂きながら寂しい人数です。地区内のあるローターアクトクラブは11のロータリークラブが提唱していますが、アクト数は23名です。11クラブが3名を派遣すれば単純に36名の会員数になります。今年度ローターアクトクラブを結成してから40周年を向かえたクラブがありました。また、最近では2007年にできた一番新しいクラブが「豊田広域RAC」です。過去10年間で2つのローターアクトクラブが解散しました。大変残念なことでした。ロータリアンは、インター、ローターのいずれのクラブを創立するときは、相当なエネルギーを使って準備をします。しかし、クラブがスタートすると平均してその直後に熱が冷めます。これが現在、頭が痛い問題で、インター、ローターの会員数が増えない原因の一つだと思います。その他に一点、設立当時のロータリアンと、現在の若いロータリアンとの年齢と時代の差が如実に表れている気がします。

最後にRYLAセミナーについての話をいたします。RI第2760地区は、現在までに18回のセミナーを全部が1泊2日で開催しました。2010年度は第19回になります。参加人数は、平均して150～180名です。手続要覧を参考に2泊3日に挑戦したいのですが、現実には時間の拘束に大きな問題があります。また、毎年RYLAセミナーのテーマは当該年度のガバナーから頂くのですが、簡単に決まることはありません。難航します。これは、国際ロータリーが、例えばアジアゾーンでテーマを決めるも良い、または国内のゾーンでテーマを決めるも良いと考えますのでご検討をお願いしたいと思っています。

最後に、インター、ローター、RYLAの必要性をまとめてみますと、青少年の育成にはビジネスと違って費用対効果を求めることはできません。各委員会の事業プログラムの恩恵を受け、青少年達が果たして将来、どう成長していくのか予測ができません。また、恩恵がどのような影響を他に与えたかも予測ができません。数値で測ることもできません。どんな結果もロータリアン自身が情報を取得して、自分の将来の奉仕事業の参考にすれば良いと思います。それは、4つのテスト「真実かどうか」から始まると思います。現在の世情は、「いろいろな面で壊れている日本、そして世界」です。多くのロータリアンが傍観者になりすぎていないかなど、自らが自問自答する必要を感じます。私の新世代委員会の結論として、若者は「人の情けと親切を、自分の心に刻んでほしい」「そして、真実かどうか、4つのテストの一項目、自分の意思をしっかりと持った人に成長して欲しい」と願うばかりです。

## 例会のご案内

## ■今週の行事 6月17日(木)

第6回クラブフォーラム

(次年度行事予定・次年度組織・青少年育成基金について・休会者の取扱いについて)

## ■次週の行事 6月24日(木) 下期納会

場 所: 松楓閣

時 間: 18:00～20:30

## ■次々週卓話 7月1日(木)

会員卓話: 田中隆義さん

テ ー マ: 会長あいさつ